

しぜんの国保育園の環境への取り組み

しぜんの国保育園では環境学習の一環として「リサイクルセンター見学」や「ごみと環境の出前講座」を実施しました。

また、「物を大切に」「感謝の気持ちを持つ」「働くことの大変さを知る」ことをテーマに年に1回「しぜん谷マーケット」を開催しています。

物を大切にしたり感謝の気持ちを持つことはごみを減らす第1歩なんだよ



リサイクルセンター見学



保育園バスの中から工場内を見学



迫力満点の巨大クレーンに大喜び



リサイクルのお話を聞きました。

ごみと環境の出前講座



収集車へのごみ入れ体験



紙芝居でリサイクルのお勉強



大きく口をあけた収集車にびっくり!



ごみ収集車の歌とおどり

紙芝居やお話、お芝居で環境の勉強をしました。勉強のあとは、外で収集車の見学。近くで見る収集車に園児たちはみんな大喜び。収集車へのごみ入れ体験もしました。

【出前講座】お申し込み：3R推進課 電話042-797-2723

しぜん谷マーケット



園児たちはそれぞれお店に立ち、自ら動くことでお金の大切さや感謝の気持ちを実感し、「物をムダにしない」「ごみを減らす」ということを学びます。飲食店では、ごみをなるべく出さないように、食器はすべてリユース食器を使用しています。

園では自主的にこんな活動もしているよ!



僕たちが会場の警備をしています。



おまわりさん

上手に作れるかな~

毎年たくさんの方が来ているだ~! よかったらみんなも遊びに来てね!



親子で楽しく工作します



お店屋さん



ごみ分別屋さん

園児手作りリユース商品

捨てる前にアイデアグッズに大変身



園庭の木で作った時計



お菓子のカンで作ったドラム



野菜の残りで作ったスタンプ



切りかぶで作ったオリジナルボタン



2歳までの園児が桜のエキスで色つけたエコバッグ

もう使えなくなった物や使い終わった物もこんなに楽しい物に生まれ変わるんだね! みんなもリユース工作にチャレンジしてみよう!!

子どもセンターばあんの

リユース工作教室にみんなで参加しました!



使い捨てプラコップを利用した

コースター作り

リユース工作で物を大切にする心を勉強します



コップさん うまくちんで~ おねがい!



いらなくなったものを再利用して、すてきな作品ができるんだね!

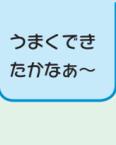


わたしもコップに絵をかきたい!



大入り満員

ちちんだらすくすくのがコップ。うまくできたかなあ~



きれいにできた!



すてきなコースターの作り方だよ やけどをしないように大人の人と一緒にやってみよう!

- 1 使い捨てプラコップ(マーク付き)に油性マジックで模様や絵をかきます。
- 2 アルミ箔の上にコップを置きオープンコースターに入れます(数秒で縮みます)。
- 3 アルミ箔ごとプラコップを出し、熱いうちに本にはさみます。手で本を押えて、コップをたいらにします。(熱いので軍手等を使用してください)
- 4 使い捨てプラコップからコースターができます。



「楽しい工作教室」を毎週開催中!

毎週土曜日 午後3時30分~5時
お問い合わせ：子どもセンターばあん
住所：金森1700-9 電話：042-788-4181

材料は「あまりもの、いらなくなったもの、使用したもの、古くなったもの」です。誰もがリユース作品をかんたんに「無料」で作ることができる人気の工作教室です。

担当者の声

作品の材料になるペットボトルや牛乳パックは私にとっては宝物です。

リユース作品の一例



牛乳パックとビンの栓を利用した タンバリン
広告紙を利用した 腕輪
テープの丸芯と割り箸を利用した 太鼓
ペットボトルを利用した 剣玉

エコバッグちゃんのこれってどうなの?

Vol.7

「買い過ぎにご注意」の巻



みんなの協力が、CO2の削減や寄付にもつながっているんだね

みんなの協力でCO2削減

インクカートリッジ里帰りプロジェクト

日本国内で年間2億個も消費されているインクカートリッジ。メーカーによる使用済みカートリッジの回収率は10%以下で、大半がごみとして捨てられていると言われています。そこで、プリンタメーカー6社と日本郵政グループの共同活動である「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に、町田市も参加しています。

リサイクル広場(4面参照)のほか、市役所本庁舎、各市民センターで集めているんだ。ぜひ、持ってきてね

【町田市回収実績】

年度	回収量	CO2削減効果	寄付額
2010年度	約160kg	約219kg (スギの本約16本分)	約17,750円
2011年度	約215kg	約294kg (スギの本約21本分)	約28,100円

回収したインクカートリッジは、メーカーごとにリサイクルされるほか、回収量に応じて「国連環境計画(UNEP)」や「SATOYAMAイニシアティブ」に寄付をしています。この寄付を通じて、植林等の森林保護や自然共生社会の実現に向けた活動の支援を行っています。

クイズの答え

①Yシャツ



②ペットボトル

③ノート



④古紙

⑤ハンガー



⑥ペットボトルのふた

⑦トイレトーパー



⑧紙パック

ごみの中には、資源になるものがたくさんあります。